

- ② ホームルーム活動は、活気に満ちて行われることが望まれているが、その計画や運営には問題を多くかかえ、目標にほど遠い場合が少なくない。また必修クラブ活動も定着するにつれ、特に最近は顧問の指導技術に対する要請が多く、教員構成、財源、講師等の面で問題となつてきている。各学校の実情に照らしながら研究協議した。
- ③ 財政的な問題等のため、修学指導事業は全体的には実施されていない。しかし学校独自で実施し、又は実施しようと考えているところもある。すでに実施した学校の実態と反省とにより、今後のあり方について研究協議した。

2 第25回東北地区高等学校定時制・通信制教育振興会総会並びに第28回東北地区高等学校定時制・通信制教育研究協議会

(1) 趣 旨

高等学校定時制・通信制教育における現状及び将来の諸問題について研究協議を重ね、東北各県相互の理解を深めるとともに、今後の振興を図る。

(2) 期 日 昭和51年6月22日(火)～6月24日(木)

(3) 会 場 仙台市「仙台市民会館」

(4) 参加人員 約450名

(5) 部会及び分科会

- ① 管理運営部会(第1分科会)
- ② 学習指導部会(第2分科会)
- ③ 生徒指導部会(第3分科会)
- ④ 各教科以外の教育活動部会(第4分科会)
- ⑤ 通信制部会(第5分科会)

なお、本県における定通教育の現況について、高等学校教育課指導主事鈴木利明が説明を行い、また福島県立須賀川第二高等学校教諭小針衛が「校外における生活指導について」研究発表を行った。

3 全国高等学校定時制・通信制教育研究協議会

(1) 目 的

高等学校の定時制通信制教育の今後の在り方及び具体的改善策等について研究協議を行い、もって今後の定時制通信制教育の振興に資する。

(2) 主 催 文部省

(3) 期 日 昭和51年9月9日(木)～9月10日(金)

(4) 会 場 国立教育会館

(5) 部会及び研究協議題・出席者

定時制部会

定時制教育の今後の在り方及び具体的改善策等につき主に次の点について研究協議を行った。

① 教育内容について

ア 卒業に必要な各教科・科目の修得総単位数

イ 1単位当たりの年間授業時数

ウ 必修教科・科目とその単位数

エ 勤労にかかわる体験的学習

オ 単位制と学年制

カ 大検科目等の単位の認定

② 修業年限について

③ 生がい教育的観点の導入について

④ 他の教育施設との連携について

⑤ 課程間の連関について

⑥ そ の 他

福島県立福島工業高等学校教頭 大和田 寅 弥
通信制部会

通信制教育の今後の在り方及び具体的改善策等につき主に次の点について研究協議を行った。

① 教育内容について

ア 卒業に必要な各教科・科目の修得総単位数

イ 1単位当たりの年間授業時数

ウ 必修教科・科目とその単位数

エ 添削指導及び面接指導

オ 勤労にかかわる体験的学習

カ 大検科目等の単位の認定

② 修業年限について

③ 生がい教育的観点の導入について

④ 他の教育施設との連携について

⑤ 課程間の連関について

⑥ そ の 他

福島県立福島中央高等学校教頭 齋 藤 信 夫

4 第31回東北・北海道地区高等学校通信制教育研究総会並びに研究協議会

(1) 趣 旨

高等学校通信教育について東北・北海道地区の実施校相互の理解と認識を深め、現在及び将来における種々の問題について研究協議を行い、今後の発展の一助とする。

(2) 主 催

東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会
山形県教育委員会

(3) 期 日 昭和51年10月7日(木)～10月8日(金)

(4) 会 場 羽黒国民休暇村(山形県東田川郡羽黒町)

(5) 部会及び研究協議題

第1分科会(管理運営)

① 今後の通信教育はどうあればよいか。

② 規制学習の問題点とその対策、特に規制におくれた生徒の指導。

第2分科会(生徒指導)

① 生徒の校外指導はどうあればよいか。

② 生徒会行事のあり方と持ち方はどうあればよいか。

③ 合宿スクーリングについて。

第3分科会(地 理)

① 生徒の実態に基づく社会(地理)の指導はどうあればよいか。